



京都大学国際融合
創造センター教授

澤田芳郎さん

京都大学国際融合創造センターの提供する産学連携方式の一つが「フリーディスカッション産学連携」です。これは企業側数人と京大教員3〜4

ヒアリングします。そしてなるべく多様な分野の適任教員を探索し、学内手続きを代行のうえ、適当日時、会場で実施します。例えば第1回では

企業が自社の沿革や将来構想、直面する問題を教員に示し、引き続き質疑応答。第2回、第3回で

企業から教員に若干の謝金を頂きます。これまでに実施した案件では企業のアイデンテ

次代を つくる

産と学の知的交流

人が1回数時間、数回にわたって企業から提起された課題を集中的に議論するもので、その企業の将来像、得意技術の伸ばし方、取り組むべき産学連携などを参加者全員で大所高所から論じます。申し入れがあると、コーディネートはまずその企業の問題意識や背景を

は逆に教員が研究成果や企業への提案をプレゼンし、教員間でも議論を深め、第4回は総括的なディスカッションとします。進行中に着想された新規アイデアについては、企業側の発言であれ教員のそれであれ発言者のものとしたうえで、期間限定の守秘義務対象にしつつ有効な取り扱いを図ります。対価としては企業から教員に若干の謝金を頂きます。

産学連携は産と学の深い知的交流を通して新しい価値を発見し、それを具体化することです。その点でフリーディスカッションは産学連携の方法論の本質と言えます。

1954年 京都大学農学部卒業、教育学研究科修士課程修了。未来工学研究所研究員、京都大学助手、愛知教育大学助教授、教授を経て、01年京都大学国際融合創造センター教授。

企業の問題意識や背景を

題字は堀場雅夫・堀場製作所最高顧問

毎日新聞(大阪本社)夕刊
2007年4月17日